



浦安市議会議員  
副議長  
小林あきひろ

# 活動のご報告

お・も・て・な・新聞(しんぶん)



発行者：小林章宏 〒279-0004千葉県浦安市猫実5-18-16-904 Tel & Fax 047-702-5011

皆さまにおかれましては日頃よりご支援・ご協力を頂戴申し上げ、誠にありがとうございます。今までホームページやフェイスブック、新聞折り込み誌の「うらやす情報」に活動を掲載して参りましたが、加えて皆さまのお手元に年に2回程度、活動のご報告をお送りさせて頂くことと致しました。ご一読して頂ければ幸いに存じます。

昨今のコロナ禍の状況、終息までまだ時間がかかりそうですが、私たち自身も密閉・密集・密接を避けてマスク・手洗いを習慣とし、この状況を乗り越えて参りましょう。

## 令和3年 第1回定例会報告にて会派代表質問に登壇。



2月18日(木)、我々の会派「自由民主党・無所属クラブ」を代表して質問を行いました。内容は、市長の施政方針/市川市の中核都市移行について/コロナ禍における選挙事務/公共輸送対策と多岐にわたりましたが、3月に浦安市長選挙が予定されていた関係で、様々な角度からの質問となりました。

## 令和3年 第1回臨時会にて、副議長に推挙されました。

5月18日(火)、多くの議員のご推挙(投票)により、副議長に就任致しました。2年間の任期中、現在取り組んでおります議会改革を推し進め、議会基本条例の制定など、市民の皆さまに身近に感じて頂ける、わかりやすい議会運営を目指して参ります。また、様々な課題に対処し、本市のさらなる発展のために最大限努力して参る所存であります。



## 令和3年 第2回定例会にて、初めて議長職を経験。



6月21日(月)の本会議において議長に変わり、初めて議長職を遂行致しました。副議長は時に、議長に代わってその任に当たりますが、いつ、その任に当たるかは未定です。浦安市議会インターネット中継で議会をご視聴されている市民の方々、目にする機会があると思います。

## 支援者の方が相談のため来庁。

年中ではありませんが、支援者の方がご相談で来庁されます。その時に正副議長室をご案内している時の写真です。議場および10階にある食堂もご覧頂きました。本会議中や委員会がある時はなかなかお会いすることが出来ませんが、お越しの際は事前にご連絡頂ければありがたく存じます。



## 少林寺拳法の大会にて所感を述べさせて頂きました。



「参与」なる肩書を頂戴申し上げ、表彰式後にご挨拶させて頂きました。少林寺拳法との出会いは、以前、スポーツフェアにて舞浜体育館の道場に見学に行った時でした。それ以来、毎年お邪魔しており、ご挨拶の場を頂いておりました。その後入会し、入門して道着も購入致しましたが、事情により現在は休会しております。学生時代にラグビーをやっており、スポーツや体を動かすことは好きです。

## 菫浦衆議院議員のビラ配布を実施。

6月から7月の朝、新浦安駅前、舞浜駅前、浦安駅前にて菫浦代議士および「自由民主党・無所属クラブ」の会派の仲間たちとビラ配りを行いました。日によって小雨模様だったり7時前から日差しの強い中、出勤や通学される方々にご挨拶させて頂きました。



## 市長に「要望書を提出」。

令和3年第2回定例会時、「浦安音楽ホールの運営に関する特別委員会の設置について」の発議が原案可決されました。この特別委員会において議員間討議を行い、結果をまとめた「浦安音楽ホールの指定管理者選定に関する要望書」を議長と共に市長に提出致しました。



## プロフィール

1960年(昭和35年) 東京都台東区生まれ  
1976年(昭和51年) 芝中学校卒業  
1979年(昭和54年) 芝高等学校卒業  
1985年(昭和60年) 早稲田大学卒業

【経歴】 総務部部長  
社会活動推進部 部長

2015年(平成27年) 浦安市議会議員(初当選)  
総務常任委員会 副委員長  
都市経済常任委員会副委員長  
2017年(平成29年) 浦安市議会議員(2期目当選)  
都市経済常任委員会 委員長  
2019年(令和元年) 浦安市議会 副議長  
浦安音楽ホールの運営に関する特別委員会 委員長  
2021年(令和3年)

浦安のために  
これからも全力で頑張ります。

オフィシャルホームページ

小林あきひろ 浦安

検索







# 自由民主党・無所属クラブ 議会報告



浦安市議会 会派 自由民主党・無所属クラブ / 西川嘉純 宝新 小林章宏 柳毅一郎 毎田潤子 深津徳則 斉藤哲

## スムーズなワクチン接種を市長に要請



5月6日、市では2回目の新型コロナウイルスのワクチン接種予約を行いました。65歳以上の対象者約3万人に対し、予約枠が6,000人分であったこと、またシステムの仕様から、再び混乱が生じました。会派 自由民主党・無所属クラブとしても事態を重く受け止め、直ちに状況を当局に確認した後、市長に緊急要望書を提出。その後、内田市長と懇談を行い、意見交換を行いました。要請内容は年齢を区分した受け付けやシステムの簡素化、接種計画の明確化とわかりやすい情報提供等です。これらを踏まえ短い期間ではありましたが改善が行われ、5月20日、21日に行われた3回目の予約では、若干の混乱はあったものの、比較的スムーズな予約が行われました。現在の65歳以上の接種率は1回目が58.5%、2回目が33.9%となっています。その後市は集団接種、個別接種、大規模センターおよび職域接種が迅速に行われるよう、6月24日に全市民に接種券を発送、今後は5歳刻みで案内のはがきを発送し、12月までには希望する市民の方全員の接種完了を目指しています。エッセンシャルワーカーの皆様への接種も、8月末に完了する予定です。

## 国・県との連携で政策実現へ ワンストップで課題を解決！



衆議院議員 そのうら健太郎  
自由民主党副幹事長

### ■連携して現在取り組んでいる課題

- ・スムーズなワクチン接種とコロナ対策
- ・国道357号線早期立体化
- ・京葉線のりんかい線乗り入れ、複々線化
- ・東西線混雑緩和、  
東西線、京葉線ホームドア設置
- ・境川河口への水門設置
- ・護岸の嵩上げと耐震改修
- ・保健所ほか国・県出先機関の誘致
- ・特別支援学校の誘致 など



県議会議員 宮坂なお  
健康福祉常任副委員  
千葉支部連合会女性局長